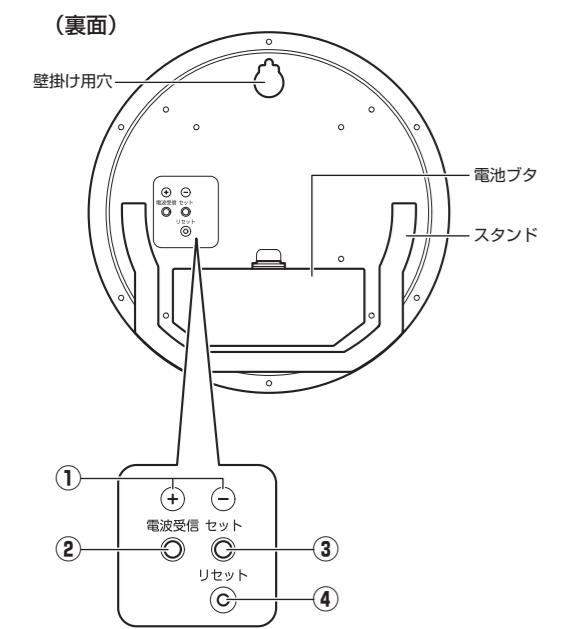
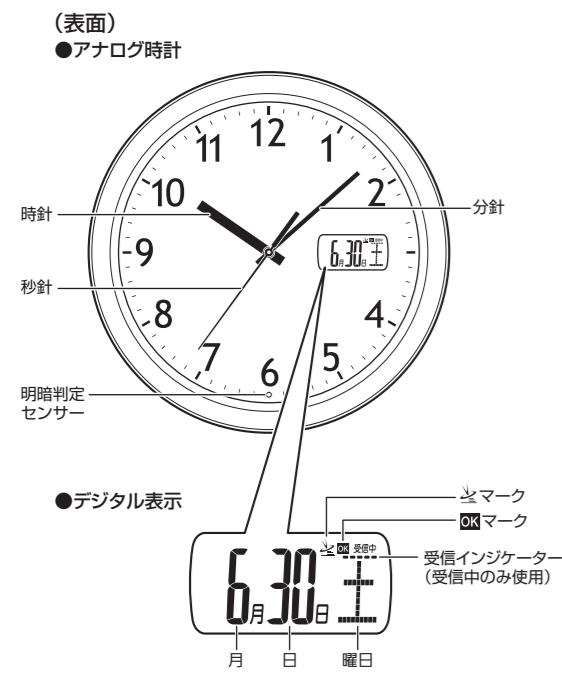




## 各部の名称

◆本書に記載している時計のイラストは操作説明用です。実際の製品とは異なる場合があります。

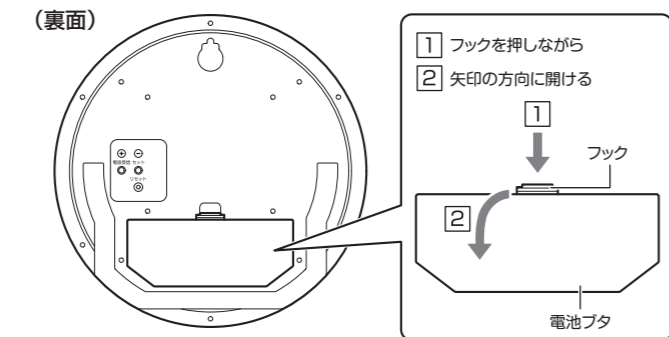


本書の記載	説明
① [+], [-]	現在の日付や時刻を合わせるときに押します。
② 【電波受信】	すぐに電波を受信したいときに押します。
③ 【セット】	時刻や設定を変更するときを押します。
④ 【リセット】	電池を入れたとき（電池交換後も含む）に押します。正常に動作するように、時計を初期状態に戻します。 ●押しづらい場合は、先端の細いもので押してください。

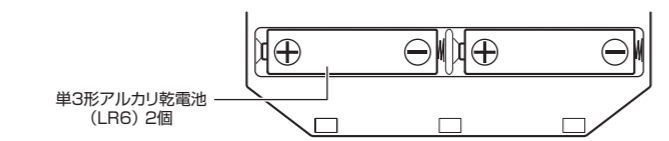
## はじめてご使用になるときは

① 時計に表示例シールが貼ってある場合には、シールをはかします。

② 電池ボタンを開けます。



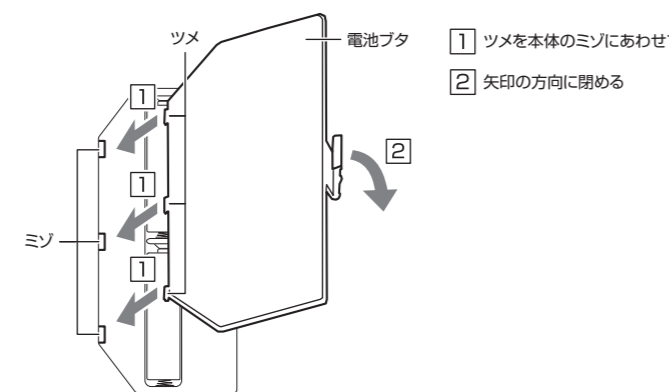
③ 電池を入れます。



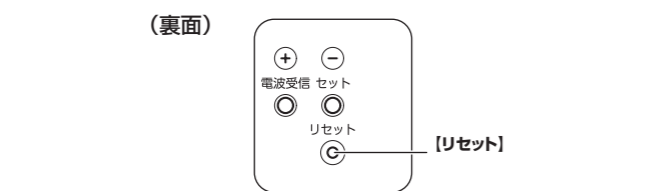
▼重要

- 極性（+と-の向き）に注意して正しく入れてください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しないでください。

④ 電池ボタンを閉めます。



⑤ 【リセット】を細い棒などで押します（リセット操作）。

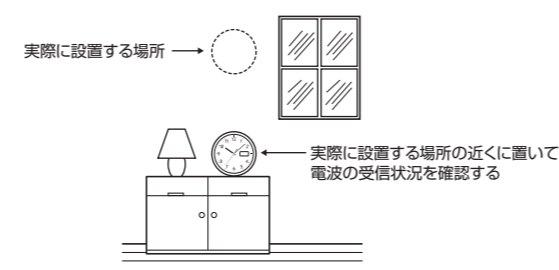


- 時計、分針、秒針が12:00 00に向けて動き始めます。12:00 00になると自動的に電波受信を開始します（針は12:00 00の位置で停止します）。
- すでに時計が動いていても、リセット操作を行ってください。

## 電池を交換する

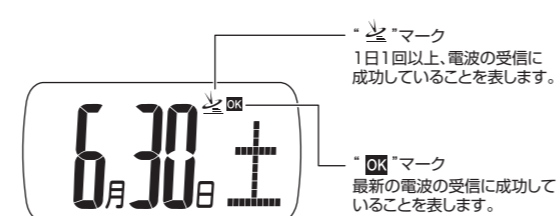
「はじめてご使用になるときは」の手順2～5を行ってください。

⑥ 時計を設置する場所に置きます。



- 電波受信が終了するまで時計に触らないでください。
- 電波受信が終了するまで最長で約16分かかります。
- 電波受信を中止したいときは、【セット】を約3秒間押し続けます。

⑦ 時計を設置する場所で、電波を受信できるかどうかを確認します。



◀電波を受信できたとき▶

- 現在の年月日と時刻に修正し、「OK」マークと「土」マークが点灯します。
- ご使用中も、「OK」マークや「土」マークの点灯状況を確認して、電波の受信状況を確認してください。

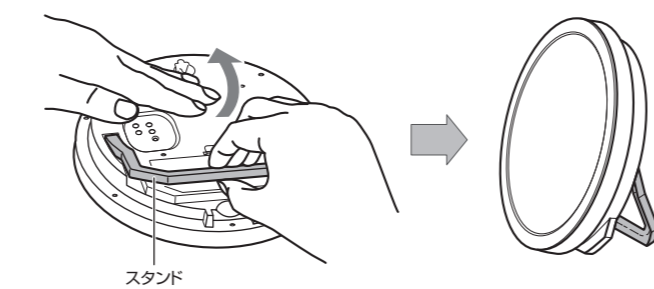
◀電波を受信できなかったとき▶

- 年月日や時刻を修正しません。「OK」マークと「土」マークは点灯しません。
- 「電波を受信できないときは」をご覧ください。

## 置時計として使う

本機は、裏面のスタンドを起こして、置いて使用することもできます。本機をテーブルなどの平らな場所に置いて、図のようにスタンドの中央を持ち、固定されるまで引き上げてください。

- スタンドを使用しないときは元の位置に収納してください。



## 時計の設置場所を変更したときは

新しい設置場所でボタンを操作して電波受信を行い（「ボタンを押して電波を受信する（手動受信）」参照）、電波の受信状況（電波の届きかた）を確認してください。

## 壁掛け時計として使う

① 時計を設置する壁の状態を確認します。

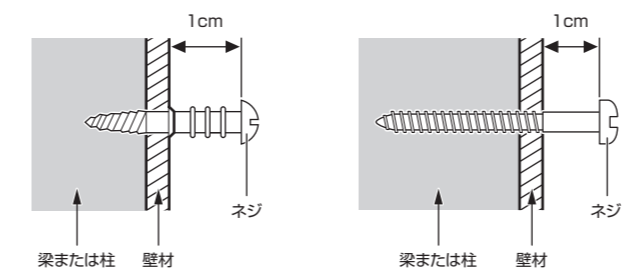
- 掛け具は、しっかりと固定できる場所（梁、木の柱、木質の厚い壁など）に使用してください。しっかりと固定できない場所に使用した場合、時計が落下してけがや故障の原因となることがあります。
- 石膏ボード、コンクリート、薄い化粧ベニヤ板などには、必ず材質に適切な市販の掛け具をご使用ください。
- 掛け具を取り付ける際には、穴をあけるなど壁に傷をつける施工が必要になります。電波の受信状況を確認し、その場所に設置することを決めてから、取り付けてください。

② 時計を設置する前に「電波を受信できるかどうか」を確認します。

- 「はじめてご使用になるときは」をご覧ください。設置する場所で電波を受信できるかどうかを確認してください。

③ 掛け具を壁に取り付けます。

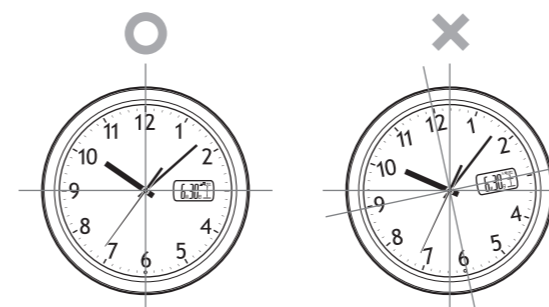
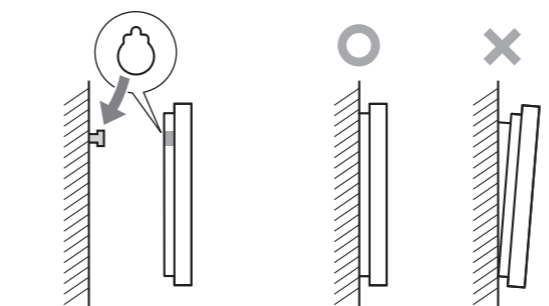
付属のネジの場合（ネジの形状は製品によって異なります）



- 市販の掛け具をご使用になる場合は、使用する掛け具の取り付け方法にしてください。

④ 時計の裏面にある壁掛け用穴を掛け具にかけます。

- かけた後、時計を上下左右、手前に軽く動かして、しっかりかかっていることを確認してください。しっかりかかっていないと、時計が落下してけがや故障の原因となることがあります。
- 水平位置も正しく合わせてください。



▼注意

- ボタンやスイッチを操作するときは必ず時計を壁から取り外してください。壁に設置したまま操作すると、時計が落下してけがや故障の原因となることがあります。

## ボタンを押して時刻などを修正する

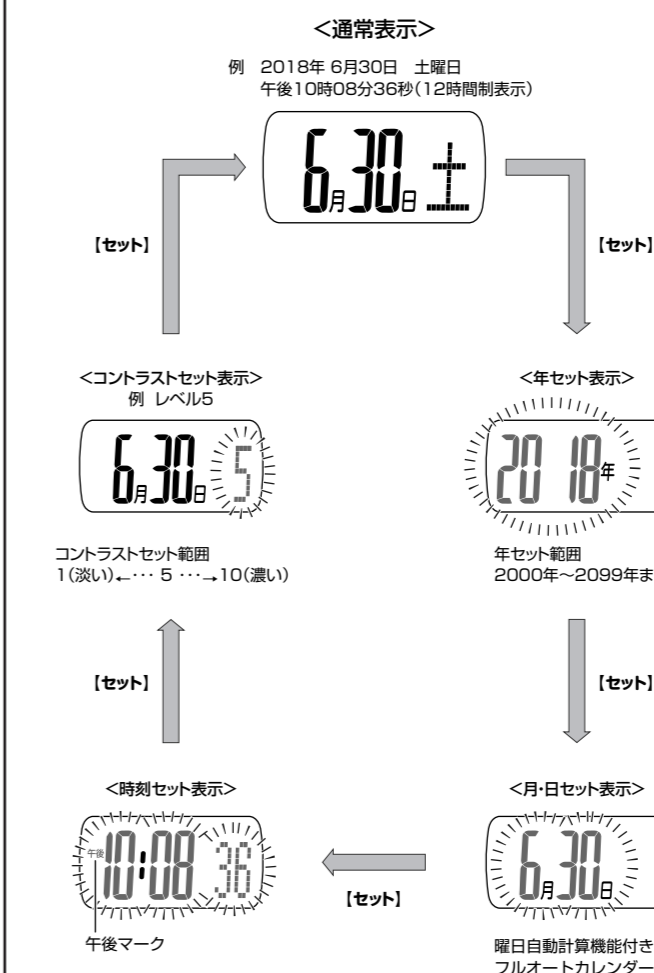
電波を受信できないときに、ボタンを押して時刻を修正します。

① 【セット】を押して、時刻などを修正する状態（セット状態）にします。

- 修正できる項目が点滅します。
- セット状態では針が止まります。
- セット状態で約3分間何も操作を行わないと、自動的に<通常表示>に戻ります。

② 【セット】を押して、修正する項目を選びます。

【セット】を押すごとに、下記の順で修正できる項目が切り替わります。



③ [+ ] または [- ] を押して、年月日や時刻などを修正します。

<年セット表示>、<月日セット表示>、<時刻セット表示>のとき

- [+ ] を押す：点滅個所の数字が進みます。
- [- ] を押す：点滅個所の数字が戻ります。
- ボタンを押し続けると早送り / 早戻しができます。

<時刻セット表示>のとき

- ボタンを押して分を進めた（戻した）タイミングで、「00」秒からスタートします。

④ 【セット】を押して、<通常表示>に戻します。

- 針の時刻がデジタル表示の時刻に修正されます。

## 表示の濃さを見やすく調整する

上記手順2で<コントラストセット表示>を選んで調整します。

- [+ ] を押す：表示濃度が濃くなります。
- [- ] を押す：表示濃度が淡くなります。

## 電源に関するご注意

- 電池の残量が残っている場合でも1年に1回は電池を交換してください。なお、電池を2個以上使用している場合は、すべての電池を交換してください。

- 電池が消耗すると一般的に以下のようなことが起こります。このようなときは長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください（定期的な交換をおすすめします）。

- 誤動作（時刻やアラームなどのリセット、報音の停止、時刻のずれなど）することがあります。
- 液晶表示は「薄くなったたり」「消えたり」します。
- アナログ時計は「時計が遅れたり」「針が止まったり」します。

- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。

- お買い上げ時に付属している電池はモニター用電池\*のため、電池新品時の電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

\*モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

- 電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとってください。

## 製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

表示内容：アナログ時計=時・分・秒（3針）  
デジタル表示=カレンダー（月・日・曜日）

電波受信機能：自動受信（7回/日\*）、手動受信

\*受信開始時刻  
AM 2:00:10、3:00:10、6:00:10、10:00:10、  
PM 2:00:10、6:00:10、10:00:10

- 10分間で自動受信ができなかった場合、同時刻の20分10秒から再度、電波を受信します。

自動選局機能

〔受信電波=長波標準電波 JJY、周波数=40kHz / 60kHz〕

「年・月・日・曜日」「時・分・秒」を受信

電波受信機能オン / オフ切り替え

その他：コントラスト調整、秒針停止機能（明暗判定センサー付き）

精度：電波受信による時刻修正が行えない場合は、平均月差±30秒以内

付属品：取扱説明書（本書）、保証書、モニター用電池（単3形アルカリ乾電池）2個、ネジ

使用温度：0℃～40℃

使用電池：単3形アルカリ乾電池（LR6）2個

電池寿命：約1年（電波受信7回/日）

◆使用電池について

- 本機は、アルカリ乾電池の特性に合わせて設計されています。
- 充電式電池は、使用しないでください。初期電圧が低く、電池の特性が合わないため、使用すると本機が正常に動作しない、または電池寿命が極端に短くなる場合があります。

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。